

2018年度 自治体学会事業報告（案）

I 第32回自治体学会青森大会の開催

第32回自治体学会青森大会に先立ち、8月24日（金）に、第34回全国自治体政策研究交流会議の開催にあわせて、情報交換会が行われた。

青森大会では、基調講演、5つの研究発表セッション、7つの分科会、ポスターセッション及び自治体学会賞表彰式を実施した。

① 日時：2018年8月25日（土） 9:00～16:15

② 会場：リンクモア平安閣市民ホール、ねぶたの家ワ・ラッセ

③ テーマ：地域の^{たから}財と未来づくり

④ 参加者：271人

⑤ 大会の概要

1 基調講演「地域の価値を確認し、未来を展望する」 (10:00～11:40)

岡崎昌之 法政大学名誉教授（元自治体学会代表運営委員）

2 研究発表セッション (13:00～14:00)

セッションA	議会	発表1件
セッションB	医療・健康と情報	発表2件
セッションC	政策法務・高齢化社会	発表2件
セッションD	まちづくり	発表2件
セッションE	産業廃棄物・非営利組織	発表2件

3 分科会 (14:15～16:15)

分科会1 自治体職員のネットワークのイカし方

分科会2 都市と農山漁村の共生

分科会3 「シェアリング」エコノミーと自治体政策

分科会4 へき地医療の現状と課題～へき地における健康政策と保健所機能を中心として～

分科会5 だれもが「住民」として守られるために～避難者・困窮者の現場から～

分科会6 （地元企画）“あるもの活かし”の地域経営とインバウンド観光

分科会7 （公募企画）行政組織における“参謀機能”

～首長と職員のかげ橋となって組織力を最大化～

4 ポスターセッション (9:30～16:00)

参加団体による展示及び資料の配布を通して参加者が交流・意見交換をできる場として開催。

参加団体：11団体

5 エクスカーション

Bコース（弘前街歩きコース）のみ実施。

6 自治体学会賞表彰式

田村明まちづくり賞：2件 研究論文賞：1件 自治体学研究奨励賞：2件

※受賞者はⅢで紹介

7 大会の詳細

大会の詳細は、学会誌 32-1 号（2018 年 11 月末発行）に掲載。

II 総会・評議員会・理事会・部会等の開催

学会の運営等に関して各会議を開催した。

1 総会

2018 年 8 月 25 日（土）9:00～9:45 に、リンクモア平安閣市民ホールで開催。

2017 年度事業報告、2017 年度決算報告、2018 年度事業計画案、2018 年度収支予算案及び役員改選案は、原案のとおり承認された。2019 年度大会開催地と会員情報の提供・名簿の作成について報告があった。

2 評議員会

① 2018 年 8 月 24 日（金） 12:00～12:50 於：リンクモア平安閣市民ホール 4 階会議室 2・3

2017 年度事業報告、2017 年度決算報告、2018 年度事業計画案、2018 年度収支予算案及び役員改選案が協議され、原案のとおり総会に提案されることとなった。また、総会への報告事項、大会における取材のあり方などについて確認された。

② 2019 年 2 月 17 日（日） 14:00～17:00 於：東京大学総合研究棟 505 号室（東京大学農学部構内）

2018 年度事業報告案、2018 年度決算状況、2019 年度事業計画案及び 2019 年度収支予算案が協議された。会員情報の提供・名簿の作成について、事務所移転について等が報告された。

3 理事会

① 2018 年 7 月 15 日（日） 於：学会事務所会議室

総会提出議案について協議、検討。各部会からの報告。大会における取材について。

② 2019 年 2 月 3 日（日） 於：学会事務所会議室

評議員会提出議題について協議、検討。各部会からの報告。会員情報の提供・名簿の作成について報告。事務所移転について協議、検討。

4 部会運営

2018 年度総会以降に、新たな評議員会の体制のもとに発足する各部会の部会員を公募した。

7 名の応募がありそれぞれ部会員となった。

内訳は、企画部会 2 名、編集部会 2 名、地域支援部会 1 名、総務部会 2 名である。

5 企画部会

青森大会の開催内容の協議、検討。

① 2018 年 5 月 26 日（土） 於：青森県庁会議室

② 2018 年 8 月 24 日（金） 於：リンクモア平安閣市民ホール 会議室

堺大会の企画内容について協議検討。

① 2018 年 12 月 9 日（日） 於：法政大学富士見校舎

② 2019 年 1 月 14 日（月） 於：堺市役所内会議室

③ 2019 年 2 月 16 日（土） 於：東洋大学白山キャンパス 1 号館 1407 教室

- ④ 2019年3月24日(日) 於：九州大学東京オフィス会議室
参考(青森大会の企画内容について協議検討。)
- ① 2017年10月9日(月) 於：九州大学東京オフィス会議室
- ② 2017年12月16日(土) 於：青森県庁内会議室
- ③ 2017年12月17日(日) 於：八甲田丸内会議室
- ④ 2018年1月21日(日) 於：法政大学外濠校舎会議室
- ⑤ 2018年3月17日(土) 於：法政大学外濠校舎会議室

6 編集部会

学会誌の発行内容について協議、検討し、編集した。また、大会において学会誌を販売した。

- ① 2018年8月4日(土) 於：学会事務所会議室
- ② 2018年11月3日(土) 於：学会事務所会議室

7 地域支援部会

メーリングリスト上で、次の事項について随時協議、検討し、決定した。

- ・自治体学会自治立志塾(集中講義)の企画開催等について
- ・自治体学会講演会の企画開催等について

8 研究支援部会

投稿論文に関して、投稿の促進を行うとともに、査読・修正・採否・学会誌での取扱い等について、部会を開催して、引継ぎ事項の確認を行うとともに、メールを活用しながら審議を進めた。

- ① 論文応募についての促進活動
 - ・青森大会のポスターセッションへの参加
「研究論文を書こう!相談コーナー」を開設し、冊子「研究論文を書こう!」を配布するとともに、大会参加者と論文作成について懇談を図った。
 - ・研究発表セッションにおける司会及びコメンテーターとして参加
- ② 2018年11月11日(日) 於：学会事務所会議室
- ③ 2018年8月16日~9月7日 査読結果をもとに論文審査。前期掲載論文の決定。
8件応募(再3件)。3件掲載。
- ④ 2019年1月18日~29日 査読結果をもとに論文審査。後期掲載論文の決定。
7件応募(再3件)。5件掲載。

9 総務部会

資料作成、経理等の学会事務をサポートするとともに、会員管理、メーリングリスト・ホームページ管理の在り方について検討を行った。新たな入会案内チラシを作成した。また、会員情報の提供・名簿の作成のため、会員情報の提供可否や確認の作業を進めた。

また、総会、評議員会、理事会に同席し、議事録を作成した。

なお、2018年8月24日(金)(青森市内)にオフ会を開催し、学会事務について検討を行うとともに、11月4日(日)から順次、会員情報確認ため、メール等による発送作業を行った。その後、収集した情報をもとに、2019年2月17日(日)オフ会にて作業の確認、3月21日(木)に名簿を発送した。

10 学会賞委員会

第8回自治体学会賞の審査を行い、表彰者を決定した。

- ① 2018年6月10日(日) 於：学会事務所会議室
- ② 2018年7月16日(月) 於：学会事務所会議室

11 役員推薦委員会

評議員会で設置が承認された役員推薦委員会を開催し、役員推薦方針を定め、公募を行い、役員候補者名簿を作成した。

- ① 2018年4月7日(土) 於：学会事務所会議室
- ② 2018年6月23日(土) 於：学会事務所会議室

III 実施事業

1 自治体学会青森大会の開催

再掲（Iを参照）

2 学会誌の発行

- ① 学会誌32-1号、1,700部を発行し（2018年11月）、全会員及び関係機関に配布した。
掲載内容：青森大会における基調講演、分科会、研究発表セッション、ポスターセッション、学会賞等を報告。研究論文、研究ノートの掲載。
- ② 学会誌32-2号、1,500部を発行し（2019年3月）、全会員及び関係機関に配布した。
掲載内容：特集「地域のヘリテージとまちづくり」他。研究論文、研究ノートの掲載。

3 学会賞の授与

2018年8月25日(土)に開催された自治体学会青森大会において、学会賞を下記の方々に授与した。

○田村明まちづくり賞

*受賞者：津軽こみせ株式会社及び活動をサポートされてきた方々

対象活動：「こみせ」など伝統的なまちなみを生かした地域の活性化活動

*受賞者：株式会社オガール 岩手県紫波町

対象活動：公民連携による紫波町オガールプロジェクトの活動

○研究論文賞

*受賞者：磯崎初仁

対象著書：知事と権力—神奈川から拓く自治体政権の可能性（東信堂）

○自治体学研究奨励賞

*受賞者：渡部朋宏

対象論文：福島原発事故避難の実態と「住民」概念の転換

*受賞者：圓生和之

対象論文：地方公務員給与の水準上昇イメージの要因分析

4 研究活動への支援

会員の研究活動への支援（投稿論文の査読）。

○投稿論文の査読を実施し、掲載論文を決定した。

前期分（32-1号掲載） 投稿数 8件 掲載論文（研究論文1件 研究ノート2件）

後期分（32-2号掲載） 投稿数 7件 掲載論文（研究論文2件 研究ノート3件）

○ポスターセッションへの参加

青森大会ポスターセッションにおいて、冊子「研究論文を書こう！」を配布し、作成方法等の相談を行った（前掲Ⅱ-8-①を参照）。

○研究発表セッションの開催

青森大会における研究発表セッションでの研究発表 発表：9件

5 学会の活性化を目指した事業の実施

①自治体学会自治立志塾 岡崎先生集中講義「自治立志塾 in 豊中」まちづくり再論 の開催

2018年6月30日（土）、7月1日（日） 大阪府豊中市

講師：岡崎昌之 法政大学名誉教授（元自治体学会代表運営委員）

鼎談：岡崎昌之 法政大学名誉教授、中川幾郎 帝塚山大学名誉教授

馬袋真紀 朝来市総合政策課

②自治体学会自治立志塾 岡崎先生集中講義「自治立志塾 in 遠野」まちづくり再考 の開催

2018年12月1日（土）、2日（日） 岩手県遠野市

講師：岡崎昌之 法政大学名誉教授

対談：岡崎昌之 法政大学名誉教授、菊池新一 認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク

③田村明まちづくり賞 視て・聴く・新たな気づきの集い in 松代の集い

2018年4月7日（土） 長野県長野市松代町

・2017年度田村明まちづくり賞受賞「特定非営利法人夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動を視て、聴く集い。

6 情報の収集と発信

○ホームページによる情報提供

事業に関する情報発信を随時行い、地域活動支援事業については、会員からの要望を受けてトップページに掲載した。

○情報の収集・提供

学会員の提供情報に基づき最新情報の収集・提供をした。

学術会議が公表する情報を会員に提供した。

○会員相互の情報交流

メーリングリストを運用し、会員間の情報交換を進めた。

7 地域活動への支援

①第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会プレ大会

*申請者：第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会実行委員会（承諾評議員：近藤優子）

*日時・会場：2018年5月25日（金）、青森市：ねぶたの家 ワ・ラッセ 多目的ホール

②北海道自治体学会 2018 年度政策シンポジウム

*申請者：北海道自治体学会（承諾評議員：石井吉春、安田あきの）

*日時・会場：2018 年 5 月 19 日（土）：北海道大学人文・社会科学総合研究棟

③2018 年度東海自治体学研究会 「地方自治をめぐる環境変化と自治体職員のありかた」

*申請者：東海自治体学研究会（承諾評議員：岡田英幸、天野慎之介）

*日時・会場：2018 年 7 月 21 日（土）：ウインクあいち

④自治体学会議員研究ネットワーク 2018 研究フォーラム：自治法改正から「地方議会改革と議選監査委員制度のあり方を考える」

*申請者：自治体学会議員研究ネットワーク（承諾評議員：小池啓道）

*日時・会場：2018 年 8 月 11 日（土）：山梨学院大学

⑤信州自治体学会フォーラム 「中心市街地とコンパクトシティについて—小諸市の 20 年とこれから—」

*申請者：信州自治体学会（承諾評議員：小池啓道）

*日時・会場：2018 年 11 月 17 日（土）：小諸市市民交流センター

⑥近畿自治体学フォーラム 2018in 和歌山

*申請者：近畿自治体学会（承諾評議員：畑中久代、田中優）

*日時・会場：2018 年 11 月 17 日（土）、18 日（日）：田辺市 和歌山県立情報交流センター

IV 事務局運営

2014 年 4 月 1 日から、東京都千代田区神田錦町 2-1 に事務局を移転し、学会事務を行っている。

事務局には、専従者 1 名（勤務日年間 80 日間程度）を含む 3 名を置き、総務部会員の協力を得て理事会との連携協力のもと事務局を運営した。

事務局の具体的な事務内容は、会員管理及び会計処理のほか、各部会の事務処理、総会・大会開催時の事務処理等である。

事務所について、貸主側から 2019 年 5 月末の契約終了の通知があったため、新たな事務所を検討した。